

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。ホームページ <http://arteclub.org> では、カラーでご覧になれます。
 ……こんな活動をしています、ご参加ください…… なたでも参加できますが、会員には特典があります。

アルテクラブ ギャラリー

— 活動のご報告 —

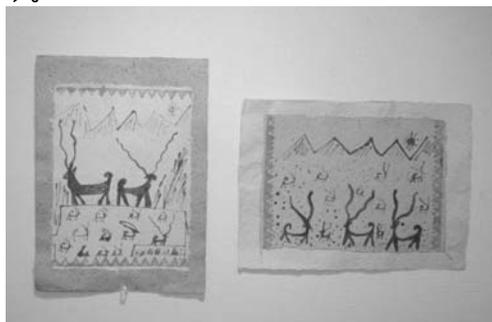
<パキスタン少数民族絵画展>

田島伸二・和子、わだ晶子

2月28、3月1、2、7、8、9日

今回のパキスタン少数民族絵画展は、パキスタンの少数民族・カラーシャ族の村に居住している和田晶子さんのコミュニティ活動に協力して、田島夫妻が紙漉きのワークショップなどをを行い、そこで出来た素朴で自然な風合いの紙に、カラーシャの子どもたちが自然や生活の絵を描いたものの展示です。紙の材料としては、そこの谷川に生えている柳の皮や使い古しの紙箱、絵の具はくるみの実や桑の実と膠で作られています。

描かれている対象は、飼っている動物達、村の人々、日常風景、お祭りの様子など。山羊の廻りに点々とあるのは、生きている証のフンです。デザイン化されています。



山々と山羊



犬や村の人々



ワークショップ風景のビデオをみんなで見る。

★カードの売上は、カラーシャの村で、工房（共同作業所）の建設に充てられます。

— これからのスケジュール —

◆ 2003年 アルテクラブ企画展

成田昭展<平面オブジェ>

5月16、17、18、23、24、25日

金土日のみ開廊です！

開廊時間 12:00~19:00 ・川越 三番町ギャラリー

★オープニングパーティー 5月15日(木)18:00~

音楽は、イングリズクラリネットカルテットの皆さん。昨年6月のオープニングでもおなじみです。

成田さんに出逢って25年程になります。互いに仕事を見つめあってきました。絵一筋の人です。つづけることの大切さをおしえて頂きました。そんな成田さんの絵を、ぜひ観て戴きたく思います。

藤井龍徳

★作家プロフィール

1950年 秋田県生まれ

- 個展 1980年 藤田画廊 (青森)
- 1983年 国分寺画廊 (東京)
- 1985年 ギャラリー和知 (東京)
- 1986年 ギャラリー和知 (東京)
- 1987年 吉祥寺ギャラリー (東京)
- 1989年 Gアートギャラリー (東京)
- 1992年 J2ギャラリー (東京)
- 1993年 21+葉アネックス (東京)
- 1994年 21+葉アネックス (東京)
- 1995年 ギャラリーイグレック (東京)
- 21+葉アネックス (東京)
- 1998年 21+葉アネックス (東京)
- 2001年 ルナン (東京)

— これからのアルテクラブ展 —

- 酒井祐二展<平面> 6月13日~
- 田中千鶴子展<立体> 7月4日~
- 鷹啄栄峰展<平面> 9月5日~
- 中村斎子展<立体> 10月3日~
- 井草裕明展<平面> 11月21日~
- 高山典子展<陶オブジェ> 12月5日~

* 『第2回川越を描くビエンナーレ』

<アルテクラブ>は、実行委員会に参加しています。

入賞作品展 平成15年6月11日~20日

会場設営ボランティア — 6月8、9、10日

川越市立美術館

川越市郭町2丁目30-1

TEL049-228-8080

会場係りボランティア — 担当日は他団体と打ち

合わせの上で決まります

今年の会場は、昨年12月に開館した、川越市立美術館です。

参加を希望される方は、アルテクラブ事務局の草野まで、連絡して下さい。皆さんのご参加をお待ちしています。

——— 活動のご報告 ———

♪2月27日(木)今回はトークで、、、
パキスタン少数民族絵画展オープニングトーク

田島伸二さん、和子さん

1977年から24年間、東京にあるユネスコ・アジア文化センターで、図書開発と識字教育に携わってきた、田島さんのお話しは、現在のように短時間のうちにあるいは瞬時に情報をやり取りしている私達にとって、ある種のカルチャーショックを与えるものでした。『全世界の成人のうち、十億人もの人々は文字の読み書きがまったくできず、その非識字者のうち三分の二はアジア地域に集中し、非識字者の約70%以上がアジアやアフリカの子どもや女性たちで、しかも、急激な人口増などによって、増加しつつある。アジアの農村に行くと、女性は育児、生活、教育、生産、経済など社会生活のすべてを担っているにもかかわらず、学ぶ機会を閉ざされている。人はただ肉体的に生存するのではなく、人間らしく、精神性をもって生存することを欲求しており、それを可能にさせる知識や情報を必要としている。人は、胃袋を満足させるのと同じように、人間らしい知識や情報を手にしたいと叫んでいる。』そのような思いから、紙パルプを自国で生産することは少なく、ノート類の値段が高いパキスタンに赴いたとき、コピー(ノートのこと)を下さい、と言う子どもたちの声に答えるために、紙漉きを始めることを考えたということです。その過程にどのようなご苦労と喜びがあったかは、田島さんご夫妻のレポートを添えさせていただきましたので、皆さんにもぜひ、お読みいただきたいものです。しかしながら、昨今の出来事を振り返って見ると、私達のまわりでも、ヒューマンリテラシーが行き渡っていると言えるのか疑わしいものです。このお便りを読んで下さっている皆さんに<アルテクルブ>の活動の目的とその様子が、きちんとお伝え出来ていればいいのですが、、、



“本日のめにゅー”
《パキスタン少数民族絵画展》

2003/02/27

- せりのごま醤油あえ
- フキとタケノコの炒め煮
- 菜の花と豚肉の唐辛子炒め
- サバの胡麻風味焼き
- レンコンの変わり揚げ
- キャベツの辛子酢あえ
- ゼンマイのお浸し

- グリーンレーズン入りパン
- イチゴミルクゼリー

Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

- 春のまぜずし (MAKI Special)

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”のHPができました。スタジオで開かれるイベントや教室のご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれます。 URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki/t/>



♪成田昭展 オープニングコンサート

5月15日(木)午後6時から

<イングリーズ クラリネット カルテット>

深江彰、山口由夏、鈴木美香、香川正尊の皆さん。

武蔵野音大出身の皆さんは、昨年6月にも演奏していただきました。今年は、またいっそう腕に磨きをかけての登場です。乞う！ご期待。

——活動のご報告——

★『綱町三井倶楽部でアフタヌーンティー&芝浦カナルタウン今昔散歩』

3月14日(金) 暖かく、見学会日よりの午後
参加者15名

港区立港郷土資料館～建築会館(有楽町から一部移転保存)～慶応大学図書館・旧館(明治45年煉瓦造3階建、首楯・中條建築事務所)～イタリア大使館前～三井倶楽部(大正2年、煉瓦造鉄骨小屋組一部RC造2階建、J・コンドル)～建築会館裏の飲食店街～鹿島神社～芝浦協働会館～船溜り(おそらく、大正末期)～日の出棧橋～運河と晴海・お台場を眺めながら湾岸食堂波止場店(東京で一番海が近いレストラン:美味しい)



三田2丁目交差点にて、



慶応大学図書館・旧館



同上

正面入口ホール階段室の「ペンは剣よりも強し」!
和田英作の意匠によるステンドグラス

——これからのスケジュール——

□「アルテクラブ」は、市民の自主的な参加によって、様々な芸術活動やまちづくり運動を自ら企画、運営し、町に住むことを楽しみたいと考えている会です。
みなさんのご提案をお待ちしています。
参加してのご感想も、どしどしお寄せ下さい。
また「アルテクラブ」は、薄く、広く、皆様のご支援を受けたいと考えています。年会費3,000円の会員が一人でも多く参加していただけると嬉しいです。

*ギャラリー会場担当ボランティアを募集しています!
アートサポーターとして、参加してみませんか?

5月16日(金) 前半12時～4時、後半4時～7時
17日(土) 前半12時～4時、後半4時～7時
18日(日) 前半12時～4時、後半4時～7時
23日(金) 前半12時～4時、後半4時～7時
24日(土) 前半12時～4時、後半4時～7時
25日(日) 前半12時～4時、後半4時～7時

*前回は、植松さん、小倉さん、新井さん、高桑さん、大島さん、が担当されました。

*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントがつきます。今までの提供作品会員割引20%に加え展示作品もポイント獲得数に応じて最大30%off(例:ポイント獲得数10の方は10%offとなります。お時間のとれる方は、草野まで連絡して下さい。)

—— 建築見学会・まち歩き ——

★<川越織物市場 見学会と再生保存に向けて>

2003年3月23日(日)

見学会 午前10時～12時

旧織物市場現地にて(松江町2丁目11、12)

シンポジウム 午後2時～5時

日本聖公会キリスト教会礼拝堂

(川越市松江町2丁目4-13)

★桐生まち歩き～アート&織物ネットワークをつくろう～5

月10日(土) (日程が変更になる場合があります)

集合時間 午前9時

集合場所 川越 三番町ギャラリー前

*車でいきますので、参加希望者と、車を提供出来る方お申し出下さい。おおぜいになった時は、バスにします。

～主な立ち寄り予定ポイント～

有鄰館、無鄰館(今年最初に取り上げた作家:丸尾さんのアトリエがあります)、(社)桐生倶楽部、絹燃記念館、桐生明治館、群馬大学工学部同窓記念会館、水道山記念館、森合資会社、金谷レース工場、桐生織物記念館、買場通り、本町通り、など時間の許す範囲で

主には、桐生のまちづくりに熱心な方々との交流です。

★<アルテクラブ>ホームページやっと更新しました!

三番町ギャラリー

川越市南通町14-3

電話 049-226-7735

アルテ クラブ 事務局

草野建築設計事務所

川越市南通町14-3・102

電話 049-227-8176

ファクス 049-227-8178

e-mail kusano@arteclub.org

URL <http://www.arteclub.org>

『綱町三井倶楽部でアフタヌーンティー&芝浦カナルタウン今昔散歩』つづき



三井倶楽部バルコニーサイドを庭から見る



1階大食堂、緋色のクロス、寄せ木の床、ペイウィンドウ



1階大サロン、アフタヌーンティーをここで頂く



1階ホール、右が入口、左は電話ボックスを見る



←
芝浦協働会館
昭和11年完成



花街の見番として誕生、港湾労働者宿泊所として転用された 協働会館へ曲がる角の店屋、手前は昔都電が走っていた道路



角の店屋ディテール、型を使用した鍍絵風装飾と石張り風左官の壁



石積みの護岸が残る船溜り